



持続的な地域創生を推進する人材育成拠点形成モデル事業

平成28年度予算(案)
170百万円(200百万円)

背景・目的

地域において「低炭素・資源循環・自然共生」社会を推進するために必要な幅広い知識・知見を修得し、総合的な取組の担い手を持続的に育成するとともに、より高度な知識・ノウハウなどを有する専門家の活用を支援する。

事業スキーム

委託先：教育機関、地方公共団体、
民間団体（継続分）
実施期間：2年間
（平成27年度～平成28年度）

事業概要

- (1) 持続的な地域創生を推進する人材育成拠点形成事業（120百万円）
全国3ヶ所程度で、地方公共団体、教育機関、民間団体等が連携し、地域内の定住者等を対象に「低炭素・循環・自然共生」社会の実現の核となる人材を育成する事業を実施。
- (2) 高度な知見・ノウハウ提供支援事業（50百万円）
地域の「低炭素・資源循環・自然共生」社会の創出に向けた計画や取組に対して、高度な知見やノウハウ並びに情報を提供するため、専門家の派遣や紹介さらには知見等を有する企業等の紹介等、取組の実現化に向けた事業を実施。

期待される効果

- ・各地域において自立的な人材育成拠点（大学の社会人講座等）を形成し、継続的に人材を育成。
- ・地域の特色を活かした人材育成拠点のモデルを確立し、全国に展開。
- ・「低炭素・資源循環・自然共生」社会の推進に取り組む団体のスキルを向上させ、全国に同様の活動を普及。

イメージ

